



名工大でリケジョ！

◇ **今回は、林優希さん（名古屋工業大学工学部生命物質工学科）のレポートです！**

こんにちは。2014年に関高校を卒業した林優希と言います。現在、名古屋工業大学の4年生で大学ではLiイオン電池の固体電解質の研究をしており、春から名古屋工業大学の大学院に進学する予定です。今回は、名古屋工業大学での私の大学生活についてお話させていただきたいと思います。リケジョを目指している方、また文系理系で迷っている方に少しでも参考になればうれしいです。

大学入学当初のギャップ

入学当初は、きれいな広いキャンパス、たのしいサークルや部活動といったことを夢見ていました。しかし入学してみると、単科大学ということもあり女子が少数派の男くさい教室、ほとんどが男子向けのサークルや部活動、寮も男子寮しかないという現実にギャップを感じました。いろんなサークル、部活を見に行ったら結果、もともと野球が好きだったこともあり、マネージャーとして硬式野球部に入部することになりました。

硬式野球部のマネージャー

私が入部した硬式野球部は大学内でも厳しいほうの部活で、週4、5回の練習がありました。マネージャーの仕事は、ノックの球出し、打撃マシンへのボール入れ、ボールの修復、試合でのスコア記録など様々です。入部当初は男子ばかりの野球部の生活に慣れること、仕事を覚えることでいっぱいでした。

2年目からは後輩マネージャーもでき、より責任感を持ってマネージャーの仕事をこなすようになりました。先輩マネージャーが引退し最高学年になると、この野球部という団体がどういう団体になるべきか、またそのためにマネージャーが何をすべきかについて考え実行してきました。

マネージャーの仕事は言われてからやるのは遅いです。常に周りを見て、今何が必要とされているか考え主体的に行動する力が必要です。わたしはマネージャーという経験を通して、礼儀、協調性、主体的に



硬式野球部

動く力などを身につけることができ成長することができました。

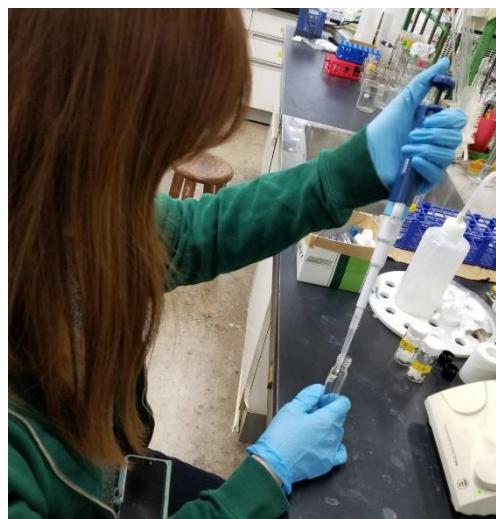
研究室生活

名工大では学部 4 年生から研究室に配属されます。私が選んだ研究室は高分子の研究室で合同研究室を合わせて学部 4 年～大学院 2 年で 23 人の学生がいて 4 割ほどが女子学生です。コアタイムというものがあり、毎日 9:30-17:00 までは研究室にいて実験をしています。

私の研究室は共同生活を大切にしている月に 1 回はイベントがあります。研究室自体が明るくわいわいした研究室なので楽しい毎日を送っています。私の研究内容は、リチウムイオン電池の電解質です。現在のリチウムイオン電池の電解質は有機溶媒であることから、液漏れによる発火の危険性があります。そこで安全面を向上させるために高分子を用いた固体電解質の作成をしています。液体に比べ固体は導電率が低くなってしまうので、実用化の値を目指して日々研究しています。1 年間研究してきましたが、うまくいかないことのほうが多くなかなか結果が出ません。でも少しでも成功したり進歩したりした時にやりがいを感じます。



研究室キャンプ



研究室で実験中

最後に

大学生活は人生最後の学生生活なので悔いのないものにするために、自分の価値を上げるために、勉強以外の何かにぜひ打ち込んでほしいと思います。大学生活は自由であるからこそ一番成長できる機会だと思います。理系の女子学生は男女共同参画社会ということもあり、企業から求められています。最近女子が理系を選ぶこと、大学院に進学すること、研究員として働くことが珍しいことではなくなっています。以前に比べレジェジョが働きやすい、生きやすい社会になってきているので、理系に進みたいという気持ちが少しでもあればあきらめないでほしいです。